



令和8年2月6日  
(通算第742号)  
問合せ先  
長野県庁園芸畜産課  
電話 026-235-7232

## 韓国で口蹄疫、アフリカ豚熱が発生しました

令和8年1月31日、韓国の農場(牛246頭)で9ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。また、同国では2月4日現在、飼養豚でアフリカ豚熱(ASF)の発生が62事例確認されています。特に今年1月以降は、これまで発生がなかった地域でも確認されています。

これから旧正月の時期を迎え、人や物の動きが一層活発になることが見込まれます。国は入国者の携帯品や国際郵便物の検査等の水際対策を強化しています。農場においても病原体の侵入防止対策の徹底をお願いします。

衛生管理区域内への立入制限



はいらないでね

長靴・衣類交換  
手指消毒、車両消毒



不要不急の渡航自粛



外国人技能実習生等による  
違法畜産物の持込み注意



## 令和7年度養豚生産力強化研修会を開催しました

令和8年1月30日、有限会社あかばね動物クリニックの水上佳大先生、エス・エム・シー株式会社の小池郁子先生、JASVの伊藤 貢先生をお招きし、研修会を開催しました。

地域ぐるみで取り組んだ慢性疾病のモニタリング検査結果に基づく衛生対策、ベンチマーキングを活用した生産性向上、ASFの最新情報について、養豚を専門とする獣医師の先生方から御講演いただきました。水上先生、小池先生の資料は長野県畜産会のHPに掲載しています。



(一社)長野県畜産会  
HPはこちら

### モニタリング検査

- 県内の18農場が参加し、PRRS、PCV2<sup>※1</sup>、M.hyo<sup>※2</sup>、APP<sup>※3</sup>をモニタリング(令和7年度地域養豚生産性向上対策事業(中央畜産会)を活用)。
- PRRS、M.hyo、APP 全て陰性の農場が約2割。PCV2は全農場で抗体陽性。  
※1 豚サーコウイルス2型 ※2 マイコプラズマ・ハイオニューモニエ  
※3 アクチノバシラス・プルロニューモニエ(豚胸膜肺炎)
- 感染症対策にはオールイン・オールアウト(小規模経営ではグループシステム)と洗浄消毒乾燥。大きな投資をしなくても生産成績を改善する方法がある。

### ベンチマーキング

- 農場の利益・成績の格差は大きくなっている。
- ベンチマーキングは成績改善のためのツール。他農場との比較=自分の立ち位置を知る、自農場との比較=昨年の自分と比較。ベンチマーキングに参加すること自体が経営改善の第一歩。

### ASFの最新情報

- 今年1月に韓国の複数地域で同時発生した事例は、野生いのししによる拡散ではなく、国外から新たにASFウイルスが持ち込まれ、人や車を介して運ばれた可能性がある。
- ASFウイルスは必ず侵入してくること、ワクチンはないことを理解し、自分の農場は自分で守ること。異常を感じたら、すぐに通報を。

家畜に異常が見つかった場合は、家畜保健衛生所へ連絡してください

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁園芸畜産課	026-235-7232